

県学給だより

令和4年度における 学校給食用物資の動向予測について

令和3年10月までに、新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が進み、緊急事態宣言も解かれ、東京オリンピックの成功も追い風となり、経済回復に向けての期待感が高まったが、新たな変異株（オミクロン）が発生し、令和4年、年明け早々にはオミクロン感染症の影響により、急激に感染者が増える状況となり、今後の経済回復の先行きが見えない状況となっている。

このような状況の中、昨年秋口からは食品の値上げ報道が相次ぎ、今年1月から大手メーカーの値上げも報道されている状況である。

考えられる値上げの要因としては、

- ◎原油価格の高騰 → 物流費・工場光熱費・包装材料等
- ◎ロックダウンの解除 → 海上コンテナ不足に伴うコンテナ確保と海上輸送費の高騰
- ◎為替相場(円安) → 輸入品全て
- ◎畜産飼料の高騰 → 食肉・生乳・乳製品・卵類等
- ◎自国消費の推進 → 輸入量の減・輸出関税の引き上げ等
- ◎その他 → 異常気象（温暖化で生産量の減少）・他国消費量の増（インド・中国等）

日本における国内自給率は40%を下回り、加工用原材料も輸入品に頼っており、値下がり要素が見つからない状況である。また、安価を保つため各企業の努力もあったが、今回の値上げについては、企業努力（経費節減等）だけでは対処できない状況であると考えられる。

また、年度替わりには更に値上がることもあるのではないかと懸念も……

このような状況の下、令和4年度の価格動向を予測するのは極めて困難なことではあるが、本県学校給食会が収集した範囲内で情報提供する。

令和4年度の学校給食費の見直し材料として役立てていただければ幸いです。

1 基本物資

(パン・めん・精米・米飯・米加工品等)

(1) 学校給食用小麦粉

輸入小麦の政府売渡価格は、価格変動制（年2回、4月期・10月期）を導入している。

売渡価格は、改定ルールに基づき、輸入小麦の直近6か月間の平均買付価格を基に算定している。（穀物の国際相場、海上運賃、為替等の動向を反映した買付価格）

小麦相場について、昨年10月期の政府売渡価格は、高騰したトウモロコシに代替する飼料用に令和3年初来の米国産、カナダ産小麦に対する中国

の旺盛な買い付け、更に6月以降、米国北部及びカナダ南部の日本向け小麦粉産地において、高温乾燥による作柄の悪化、太平洋エリアで輸送需要の回復による海上運賃の大幅上昇などにより前期と比べ平均価格は19.0%上昇した。

令和4年4月期の政府売渡価格は、3月上旬に決定される。いまだオミクロン株や原油高の影響で世界経済は不安定な状況のなか、今後の海上運賃、為替動向、小麦の作柄、産地の天候要因などによって変化するとみられるが、現状では上昇傾向が続くと思われる。

国内産麦（中力粉）価格は、昨年9月に行われ

令和3年度産温州みかんは、九州では「表年」和歌山県や静岡県では「裏年」にあたり、全体の収穫量は前年並みからやや少ない結果となる見込み。品質としては降雨量が多く、薬を散布しても流される、あるいは散布自体ができなかった地域もあったことから、キズが多く見られており、青果向け出荷量は減少した。価格についてはリンゴの収穫量が全国的に悪いことから、みかんの引き合いが強くなり、産地によって前年と比べ高値で推移しているところもある。九州産冷凍みかん向

け原料は、出荷量、糖度及び酸味共に平年並みであり、大玉傾向である。このことから、令和4年価格は前年価格とほぼ横ばいでの推移が予想される。

6 保護者負担の学校給食費

令和4年度の学校給食費は、令和3年度当初と比較して、自校炊飯では2.5%、委託炊飯では3.0%程度の増額を見込む必要があると予想される。

表1 学校給食費の平均月額

区分		年度	28年度		30年度		3年度	
			平均月額(円)	対前年上昇率(%)	平均月額(円)	対前年上昇率(%)	平均月額(円)	上昇率(%)
全国平均	小		4,323	0.5	4,343	0.5	—	—
	中		4,929	0.2	4,941	0.2	—	—
岡山県平均	小		4,691	△0.5	4,775	1.8	4,819	0.9
	中		5,285	△0.2	5,371	1.6	5,557	3.5

表2 令和3年度1食当たりの平均価格

区分	小学校	中学校
主食(米飯・パン・めん)	46円98銭	54円89銭
牛乳	55円04銭	55円04銭
副食	171円22銭	213円49銭
合計	273円24銭	323円42銭

(注) 岡山県教育委員会調査の一食あたりの平均単価をもととした岡山県学校給食会の推計。

表3 学校給食費の内訳別上昇見込率

区分	小学校			中学校		
	令和3年度 構成比(%)	令和4年度見込比率(%)		令和3年度 構成比(%)	令和4年度見込比率(%)	
		自校炊飯	委託炊飯		自校炊飯	委託炊飯
主食(米飯・パン・めん)	17.2%	95.3	98.6	17.0%	95.3	98.6
牛乳	20.1%	100.0	100.0	17.0%	100.0	100.0
副食	62.7%	105.0	105.0	66.0%	105.0	105.0
合計	100.0%	102.3	102.8	100.0%	102.5	103.0

(注) 1. 岡山県学校給食会で独自に推計したものである。
 2. 主食の週当たりの実施回数は、米飯3.00回 パン1.31回 めん0.69回 と推定した。
 3. 牛乳は若干の値上げが予想されるが現時点では100%とした。
 4. 副食は、それぞれ原料等の動向により値上げ幅は異なるが、現時点での単純平均変動を推計したものである。